

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月5日

上場会社名 株式会社ビーイング 上場取引所 東
 コード番号 4734 URL <http://www.beingcorp.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)末広 雅洋
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)後藤 伸悟 (TEL)059(227)2932
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	3,263	28.2	287	—	296	828.4	213	—
25年3月期第3四半期	2,546	2.3	21	△68.0	31	△58.4	△5	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 214百万円(—%) 25年3月期第3四半期 △2百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	27 10	—
25年3月期第3四半期	△0 76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	4,884	2,223	45.5
25年3月期	4,714	2,047	43.4

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 2,223百万円 25年3月期 2,047百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0 00	—	5 00	5 00
26年3月期	—	0 00	—		
26年3月期(予想)				10 00	10 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,300	18.4	380	87.2	400	81.8	260	40.4	33 06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社、 除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年3月期3Q	8,257,600株	25年3月期	8,257,600株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	392,715株	25年3月期	392,715株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年3月期3Q	7,864,885株	25年3月期3Q	7,864,909株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、当社グループはパッケージソフトウェアの開発・販売を主たる事業としているため、当社グループの業績は売上高の増減がほぼそのまま営業利益に反映するという特徴があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済対策や日本銀行の金融政策によって円安・株高が進むとともに、企業収益に改善の動きが見られるなど、景気は緩やかに回復しています。建設業においても、公共投資が増加しており、設備投資に回復の兆しが見られます。

そのような状況の中、当社グループでは、主力商品のバージョンアップ販売を着実に進めるとともに、関連製品の販売拡大に取り組んでまいりました。平成25年5月には株式会社アイデアマンより一括見積りサイト運営事業を譲り受け、インターネットを利用したマッチング・ビジネスに参入いたしました。また、プロジェクト・マネジメント分野においては、米国ノベシス社と北米総代理店契約を結ぶなど、事業領域の拡大に向けた取り組みを進めてまいりました。また、ミャンマー連邦共和国に設立した子会社は、今後、オフショア開発拠点として整備を進め、製品開発スピードの向上とコスト競争力の強化を図ってまいります。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、前年同期に比して28.2%増加し3,263百万円となりました。

経費面では、売上の増加にともない売上原価が、一括見積りサイト運営事業の開始にともない販売費が、それぞれ増加しております。

この結果、経常利益は前年同期に比して264百万円増加し296百万円となりました。また、四半期純利益は213百万円（前年同期は、四半期純損失5百万円）となりました。

セグメント別の概況は次の通りであります。

(建設関連事業)

建設関連事業につきましては、主力の土木工事積算システムの販売が引き続き堅調に推移していることに加えて、5月から一括見積りサイト運営事業を開始したこと、また、情報共有システムやプロジェクト・マネジメント関連の販売が着実に伸びたことなどから、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比して22.3%増加し2,391百万円となりました。

利益面では、売上の増加にともなう売上原価の増加や、一括見積りサイトにユーザーを誘導するための販売費が加わったことから販売費及び一般管理費が増加しております。この結果、セグメント利益は122百万円（前年同期は、セグメント損失35百万円）となりました。

(設備関連事業)

設備関連事業につきましては、当期より新たに有償サポート・サービスを開始するなど、顧客満足の向上と差別化に努めてまいりました。その結果、主力の水道設備及び電気設備CADのバージョンアップ販売が軌道に乗り、業績に寄与いたしました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比して47.5%増加し872百万円となりました。セグメント利益は前年同期に比して108百万円増加し181百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて149百万円増加し、3,433百万円となりました。これは主に、現金及び預金が360百万円、繰延税金資産が35百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が264百万円減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて20百万円増加し、1,451百万円となりました。これは主に、のれんが29百万円増加したことによるものです

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて170百万円増加し、4,884百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて55百万円減少し、1,211百万円となりました。これは主に、賞与引当金が43百万円減少したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて49百万円増加し、1,449百万円となりました。これは主に、退職給付引当金が29百万円、長期前受収益が23百万円それぞれ増加したことによるものです。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて5百万円減少し、2,661百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて175百万円増加し、2,223百万円となりました。これは主に、四半期純利益213百万円を計上し、39百万円を配当したことにより、利益剰余金が173百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて2.1ポイント増加し、45.5%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて369百万円増加し、1,354百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動により獲得した資金は485百万円（前年同四半期は229百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益296百万円や売上債権の減少額262百万円などの収入、賞与引当金の減少額43百万円、法人税等の支払額130百万円などの支出があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動により支出した資金は76百万円（前年同四半期は212百万円の支出）となりました。これは主に、一括見積りサイト運営事業ののれんの取得による支出52百万円、有形固定資産および無形固定資産の取得による支出18百万円などがあったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動により支出した資金は39百万円（前年同四半期は31百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払額39百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成26年1月31日に公表いたしました予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,544,811	1,904,855
受取手形及び売掛金	708,280	444,051
有価証券	715,730	719,848
商品及び製品	1,057	1,694
仕掛品	1,040	—
原材料及び貯蔵品	5,756	6,080
繰延税金資産	273,741	309,730
その他	33,874	48,556
貸倒引当金	△350	△1,500
流動資産合計	3,283,942	3,433,316
固定資産		
有形固定資産	248,744	241,794
無形固定資産		
のれん	330,706	359,941
その他	55,329	47,530
無形固定資産合計	386,035	407,471
投資その他の資産		
投資有価証券	470,168	470,960
その他	329,896	338,512
貸倒引当金	△4,490	△7,487
投資その他の資産合計	795,574	801,984
固定資産合計	1,430,354	1,451,250
資産合計	4,714,297	4,884,567
負債の部		
流動負債		
買掛金	63,743	54,144
未払法人税等	95,243	91,580
前受収益	696,143	662,899
賞与引当金	130,333	86,780
その他	281,583	316,420
流動負債合計	1,267,047	1,211,825
固定負債		
退職給付引当金	365,214	394,733
繰延税金負債	428	1,050
長期前受収益	1,028,296	1,052,042
その他	5,747	1,774
固定負債合計	1,399,687	1,449,600
負債合計	2,666,735	2,661,426

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,586,500	1,586,500
資本剰余金	197,982	197,982
利益剰余金	419,592	593,422
自己株式	△85,682	△85,682
株主資本合計	2,118,393	2,292,222
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△70,831	△69,081
その他の包括利益累計額合計	△70,831	△69,081
純資産合計	2,047,562	2,223,141
負債純資産合計	4,714,297	4,884,567

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	2,546,751	3,263,723
売上原価	704,606	845,698
売上総利益	1,842,144	2,418,024
販売費及び一般管理費	1,820,181	2,130,084
営業利益	21,963	287,939
営業外収益		
受取利息	8,323	8,534
受取配当金	185	205
雑収入	3,017	1,453
営業外収益合計	11,525	10,192
営業外費用		
支払利息	38	38
障害者雇用納付金	1,440	960
雑損失	88	770
営業外費用合計	1,567	1,768
経常利益	31,922	296,363
特別利益		
補助金収入	3,658	—
特別利益合計	3,658	—
特別損失		
固定資産除却損	1,352	38
事務所移転費用	13,106	138
固定資産圧縮損	3,658	—
特別損失合計	18,117	177
税金等調整前四半期純利益	17,463	296,186
法人税、住民税及び事業税	26,769	119,832
法人税等調整額	△3,312	△36,800
法人税等合計	23,457	83,032
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△5,993	213,153
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,993	213,153

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△5,993	213,153
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,951	1,749
為替換算調整勘定	798	—
その他の包括利益合計	3,749	1,749
四半期包括利益	△2,243	214,903
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,243	214,903
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	17,463	296,186
減価償却費	27,680	30,786
のれん償却額	15,831	22,765
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△380	4,147
賞与引当金の増減額(△は減少)	△47,480	△43,552
退職給付引当金の増減額(△は減少)	30,303	29,519
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	756	△3,244
受取利息及び受取配当金	△8,508	△8,739
支払利息	38	38
固定資産除却損	1,352	38
事務所移転費用	13,106	138
固定資産圧縮損	3,658	—
売上債権の増減額(△は増加)	221,084	262,274
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,241	79
仕入債務の増減額(△は減少)	5,752	△9,599
未払又は未収消費税等の増減額	△11,154	16,039
前受収益の増減額(△は減少)	△37,997	△33,244
長期前受収益の増減額(△は減少)	△4,683	23,745
その他	27,345	17,738
小計	251,927	605,116
利息及び配当金の受取額	7,712	8,001
利息の支払額	△38	△38
移転費用の支払額	△13,106	△8,094
法人税等の支払額	△18,257	△130,587
法人税等の還付額	849	10,973
営業活動によるキャッシュ・フロー	229,087	485,371
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△327,000	△334,200
定期預金の払戻による収入	286,000	343,200
有価証券の取得による支出	△100,298	△100,225
有価証券の売却及び償還による収入	100,000	100,000
有形固定資産の取得による支出	△29,286	△7,609
無形固定資産の取得による支出	△29,536	△10,400
投資有価証券の取得による支出	△153,860	△1,751
子会社株式の取得による支出	—	△5,007
のれんの取得による支出	—	△52,000
関係会社貸付けによる支出	—	△6,261
敷金及び保証金の差入による支出	△2,253	△2,369
敷金及び保証金の回収による収入	43,724	213
保険積立金の積立による支出	△164	△157
投資活動によるキャッシュ・フロー	△212,675	△76,569

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△728	△728
自己株式の取得による支出	△11	—
配当金の支払額	△31,099	△39,028
財務活動によるキャッシュ・フロー	△31,839	△39,757
現金及び現金同等物に係る換算差額	607	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△14,819	369,044
現金及び現金同等物の期首残高	972,867	985,811
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	34,225	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	992,273	1,354,855

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表計上額 (注) 2
	建設関連事業	設備関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,955,136	591,615	2,546,751	—	2,546,751
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20,833	900	21,733	△21,733	—
計	1,975,969	592,515	2,568,485	△21,733	2,546,751
セグメント利益又は損失 (△)	△35,025	72,820	37,795	△15,831	21,963

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、のれん償却額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表計上額 (注) 2
	建設関連事業	設備関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,391,377	872,346	3,263,723	—	3,263,723
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,599	1,700	5,299	△5,299	—
計	2,394,976	874,046	3,269,022	△5,299	3,263,723
セグメント利益	122,127	181,643	303,771	△15,831	287,939

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれん償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「建設関連事業」セグメントにおいて、事業譲受により、のれんの金額に重要な変動が生じております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、52,000千円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。